

杉戸中だより

学校教育目標『自主自立』

◎自ら求め真剣に学ぶ生徒

◎自他の人格を尊重する生徒

◎健康・体力の増進に努める生徒

思いを言葉や行動にして

校長 小山 裕之

「私の長所は、誰とでもコミュニケーションをとることができることです。また、人を笑顔にすることができます……。」「私の長所は、探究心が強く、興味をもったことや分からないことをすぐに調べることです。また、小さい時から本に触れていたもので、文章を書くことや内容を速く深く読み解くことが得意です……。」

集団面接の練習を終えた3年生は、昨年11月から昼休みや放課後等の時間に、校長室で個別面接を行っています。「志望理由」「中学校生活で力を入れて取り組んだこと」「私の長所」等について、礼儀正しい態度や言葉遣いで語る姿からは、3年間の大きな成長の跡が窺えます。

「杉戸中学校はどんな学校ですか？」と尋ねると、多くの生徒が「行事に一生懸命」「部活動が盛ん」「友達や先生と仲がいい」「挨拶がよくできる」等、答えてくれました。



国際化や情報化が進展する中、自分の思いや考えを言葉で伝えたり、他者と上手にコミュニケーションを図ったりする力は、今後ますます重要になると聞きます。未来を真っすぐに見つめ、夢や希望を真剣に語る子供たちの将来に、幸あれと願うばかりです。

12月の中旬には、朝の登校時間に落ち葉掃きのボランティア活動を行いました。寒さが本格化する中、100名程の生徒が進んで協力してくれ、枯れ葉で



一杯の袋が山になりました。早めに登校した生徒に参加の理由を尋ねると、「自分たちの学校をきれいにしたから。」「役に立ちたいから。」等と答えてくれました。「タイパ」「コスパ」等が重視されがちな社会風潮もある中、奉仕の心で活動する生徒の姿を、誇らしい気持ちで見つめました。



12月22日（日）には、杉戸ロータリークラブ主催による「第10回杉戸町音楽祭」が行われました。本校からは、弦楽部と吹奏楽部の生徒が出演しました。下校時間が早まる時季のため、練習時間の確保が難しい中でしたが、日々の練習を積み重ねた生徒たちは、心を込めた演奏で来場者に感動を届けました。



26日（木）には、演劇部が久喜市菖蒲文化会館において、劇を発表しました。演目は「春の終わり」です。季節を司る神たちの思いや葛藤を、演者や照明、幕、音響等の役割を協力し合いながら巧みに演じ、素晴らしい物語の世界を披露してくれました。



最後になりましたが、保護者・地域の皆様には、爽やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。本校がさらなる発展を遂げられるよう、全教職員で力を合わせて努めて参ります。引き続き「チーム杉戸中」として、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。